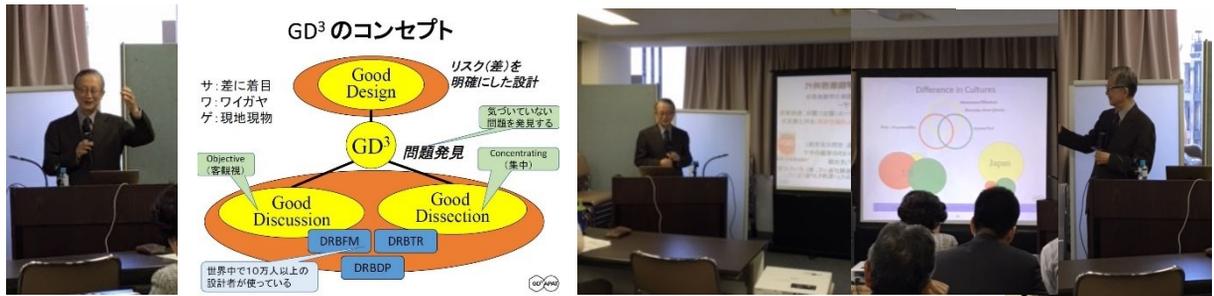


▲▼▲第54回クリエイティブサロン (2018年3月10日)開催報告▲▼▲

第1部講演会：「「発見力」～価値創造に熱狂する組織を作る～」

講師：吉村達彦氏 (GD3コンサルティング代表)



「製品の開発・製造に関わる全ての人々が、製品の問題を発見し、お客さまのための価値に変換すること(価値創造)に熱狂する組織を作るには・・・」という視点で、今、私達が行なっている仕事をブレークスルーしたのが「未然防止」の考え方です。「品質」という「非・創造的」仕事、創造性を発揮しようとしている人々の敵のように思われていますが、お互いに反目しあつたのでは、創造的なアイデアも実現しませんし、会社の大部分の人は創造的な仕事とは縁遠いところで仕事をするようになります。

講演者はトヨタ自動車開発部門在籍時代から、製品の品質・信頼性を確保する仕事を創造的に行うことはできないかというテーマと取り組み、GD³というConceptを開発しました。このConceptを使ったDRBFMという手法は世界中の自動車関連製造業をはじめ多くの企業の設計者が使用しています。

私たちは問題が起きれば、それを解決し、対策を行い、再発を防止することができます。しかし、まだ起きていない問題に対処する、すなわち未然防止がなぜできないのかと悩むことになるのです。なぜまだ起きていない問題に対処できないのかというと、それは問題に気づかないからなのです。つまり、未然防止とは隠れた問題を発見することなのです。もし気づいていない問題を発見することができれば、あとは、今までの問題解決・・・のプロセスを活かせば良いのです。

問題を発見するというのは、新しいものを創造するのと同じ、人間の創造性を使う行為です。つまり、創造性を発揮し新しいシステムを開発すること、品質問題を未然防止するという事は相反することではなく、お客様の期待に答えるために人間の創造性を発揮する同じベクトルの仕事なのです。(記事：吉村達彦)

第2部ワークショップ：「イノベーションを生む企業文化と人材育成 - 3M社を事例として -」

講師：当麻哲哉氏 (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)



講師の当麻哲哉氏は1988年に住友スリーエム社に入社後、2001年に米国本社に転籍、20年にわたりスリーエム社に勤務し、Advanced Product Development Specialistとしてグローバル市場での数々の新製品導入プロジェクトを成功させてきた。スリーエム社は、1902年に設立され、米国に本社を置くグローバル企業である。イノベティブ・カンパニーとして世界で高い評価を得ている。当麻氏は、イノベティブなヒット商品を数多く世に送り出しているスリーエム社の企業文化と人材育成について語った。

その基本的なスタンスは、失敗を許容する組織風土にあり、社員のひとりひとりが自主性をもって高い目標に向かって挑戦できる文化が社内にてできている。また、多様性に富んだ人材と技術、多くの経験と知識が共有できる仕組みがある。これらを組み合わせることで、イノベティブなアイデアが生まれてくる。当麻氏は、自身のスリーエム社時代のエピソードや実際に開発した製品を楽しく紹介し、参加者の理解を深めた。

次にワークショップでは、講師がスリーエム退職後、慶應SDMで行っているイノベーション教育「システム×デザイン思考」から、アイデア創出手法の一部を紹介した。失敗を恐れずポジティブに考える環境と、多様性のあるチーム形成ができれば、イノベティブなアイデア創出につながることを、参加者の皆さんに体験いただいた。WSテーマは「普段の仕事の不満をぶちまけよう！」だったので活発なグループワークとなった。ブレインストーミング法で発散し、親和図で収束を図った後、強制連想：マトリクス法を学んでもらい、グループ別の成果物を作り、発表した。時間的制約があったが、楽しくワークしていただき、大変ユニークなアウトプットもあり盛況のまま終了した。

(要旨：当麻哲也、報告：豊田貞光)